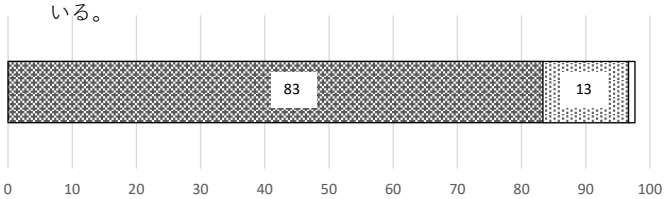
令和５年度

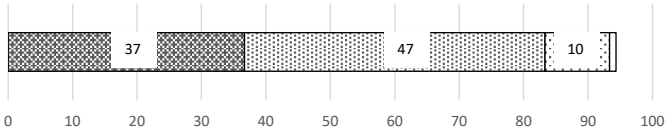
学校アンケート結果グラフ（職員）

そう思う　だいたいそう思う　あまりそう思わない　そう思わない　わからない

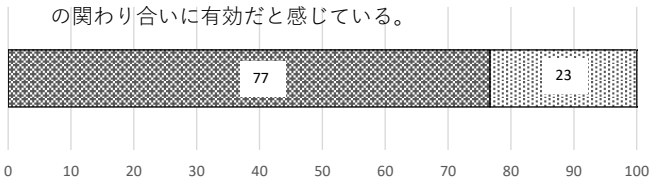
設問１．交換授業や学年などでの情報交換をすることで、児童理解の深まりや授業改善に活かすことができている。



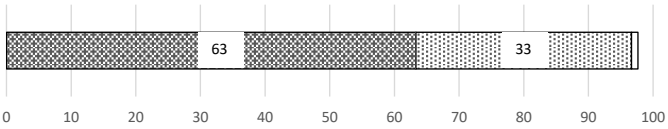
設問２．GIGA端末を使う学習スタイルに一定の定着が見られ、より広く調べたり、児童同士の情報共有が活発になったりするなど、より効果的な使い方の情報共有が進んでいると感じる。



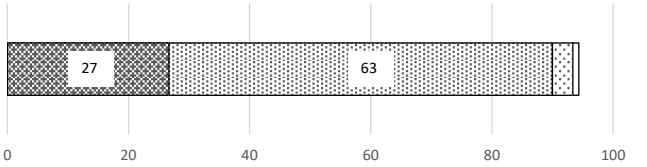
設問３.児童活動や犬リンピックなどの学校行事を通して異学年とも交流をもち、互いのつながりがもてるような活動を取り入れている。このような取り組みは子供たちの関わり合いに有効だと感じている。



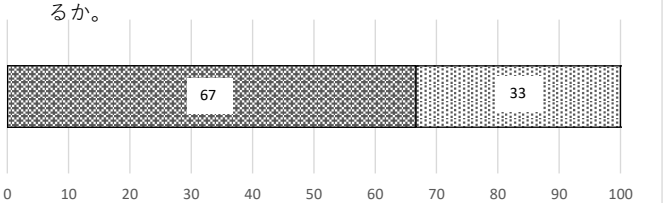
設問４.係活動や実行委員を主体とした学年・学級活動、児童会活動などの行事や集会の中で、児童の主体性を伸ばす指導に努めている。このような取り組みが子どもたちの主体性を伸ばすと感じている。



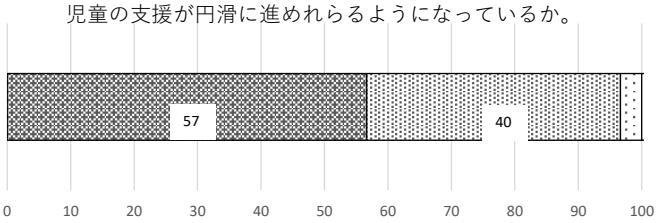
設問５.キャリア在り方生き方教育、福祉、人権尊重、国際理解などの学習や学校生活を通して自他ともに大切にすることについて指導している。このような取り組みが人を思いやる気持ちを高めていると感じられている。



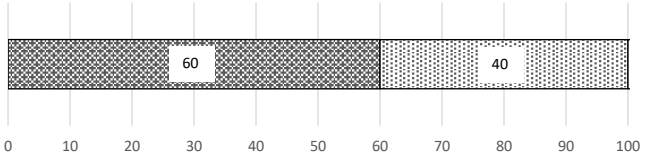
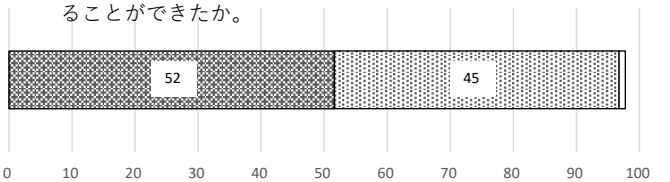
設問６.学年間や支援教育コーディネーターと相談、連携し、子どもたちのニーズに応えられるようになっているか。



設問７教育相談など、家庭と連携を図ることによって、児童の支援が円滑に進めれらるようになっているか。



設問８.様々な場面を想定した避難訓練を実施したり、定期的な登下校指導をしたりしてきた。安全防災体制の充実を図ることができたか。



設問９学校だよりや学年だより、学校HP、懇談会、個人面談などで学校生活の様子を発信し、学校の理解を深めることができたか。